

# 「南海地震に備えて看護ができること」 - 地震が起きてからの3日間を考える -

日時：令和7年2月8日（土）13：30～16：30

会場：放送大学高知学習センター 3階講義室（大）  
高知市曙町2-5-1（高知大学朝倉キャンパス内）

※駐車場は有料になりますのでお越しの際はなるべく公共交通機関をご利用下さい。

**対象者：看護関係職員、または介護関係職員**

講師：岡崎 啓氏  
（高知医療センター看護科長）



【略歴】 高知市立高等看護学院を卒業  
1999年4月高知市立市民病院に入職  
2005年3月から高知医療センター勤務  
2006年日本DMAT隊員となる

【災害活動実績】  
東日本大震災および熊本地震DMAT  
隊員として派遣される

放送大学高知学習センターでは、地域  
人財育成プロジェクトを高知県看護協  
会と連携して平成25年度より実施し、  
毎年多くの看護職員の方に参加して  
いただいております。

【研修の方法】 講義形式と実技を実施

講義形式の部分は、

- ①災害看護の基本的な考え方を30分。
- ②グループワークを盛り込んで参加者にも南海地震を想像しながら自分たちが出来ることを共に考えてもらい、疑問やどうすれば良いのかについてQ&A方式で進めていく時間を1時間15分
- ③トリアージの方法を実践しながら学ぶ時間を1時間で考えています。  
基本的な内容を話したうえで、南海地震が起きた時に、看護にたずさわる人が何をすれば良いのか、何が出来るのかを皆で考えながら研修をすすめて行きたいと考えています。

内容としては、「病院で働いている場合」「病院外にいる場合」に分けて話を進めていきたいと思っております。

定員：32名（先着順） 受講料：無料 申込締切：令和7年2月4日（火）

お申し込み・  
お問い合わせは

 **放送大学** 高知学習センター

月曜・祝日  
は閉所

〒780-8072 高知市曙町2-5-1(高知大学内) tel.088-843-4864 fax.088-843-4813 E-mail.kochi39@ouj.ac.jp

主催/放送大学高知学習センター 共催/公益社団法人高知県看護協会